

令和2年度に見守り活動団体（通称：見守り隊）として10年以上活動を行う「青葉小学校区防犯対策連絡会」に感謝状を贈呈しました。そこで、この会の代表を務められています山澤 忠治（やまざわ ちゅうじ）さん（78歳）に、日頃の活動などについてお話を伺いました。



青葉小学校長（左）から青葉小学校区防犯対策連絡会の代表である山澤忠治（右）さんへ感謝状を贈呈

見守り活動の内容について教えてください。

私たちの団体では、朝は子どもたちが登校する時間に合わせて、帰りは青葉小学校の下校時刻の連絡表をもとに、登下校する際に危険な箇所に立ち、指導用横断旗を使って、安全指導を行っています。見守り隊の隊員が危険な箇所に誰もいないということが無いように、隊員が必ず見守りを行うようにしています。

このほか、防犯パトロールも行っている隊員もいます。また、隊員の間で意見交換を行うため、青葉小学校で防犯対策連絡会を年に数回開催しています。



団体の雰囲気を教えてください。

青葉小学校区防犯対策連絡会には、5つの自治会が参加しています。私の所属している「緑が丘2丁目の自治会」では、お互いに声を掛け合い、助け合いながら楽しく活動を行っており、良い雰囲気です。



活動を始めたきっかけを教えてください。

青葉小学校の初代PTA副会長や自治会長を務めたことや、3人の子どもが青葉小学校に通っていたこともあり、「定年後は見守り隊に参加しよう」という気持ちをずっと持ち続けていました。

ある時、老人会の友人から見守り隊の活動の話を聞き、「やってみないか」と誘われたことが参加する決め手になりました。



活動してよかったと思うときを教えてください。

見守り活動を始めて12年目になりますが、登下校時に子どもたちとの会話や挨拶を交わすことで、毎日元気をもらえています。特に、子どもたちの方から「おはよう」と挨拶をしてもらえたり、「ジャンケンしようよ！」などと声をかけてもらえると嬉しいです。



活動を行う上で大切にしていることを教えてください。

まずは安全第一。子どもたちを守らなくてはいけないので、この安全第一を何よりも一番に気を付けています。そのため、車が来たら大きな声で端に寄るように注意の呼びかけを行ったり、登校が最後の子どもたちの後ろを一緒に歩き、車が来てもすぐに気が付くようにしています。

また、人とのふれあいも大切にしています。子どもたちに声をかけて、話をすることで信頼関係を築くことも心がけています。以前、子どもが転んで泣きながら来た時に、絆創膏を貼ってあげると喜んでくれたので、見守り活動を行う際に、絆創膏を携帯するようにしています。



活動の参加を考えている方へメッセージをお願いします。

子どもたちの安全を守るために「安全第一」を念頭に置いて活動に参加して欲しいです。ただし、見守り活動を義務のように固く考えてしまうと、参加しても長く続かず、負担になってしまうと思います。そのため、あまり固く考えずに参加できるときに活動に参加してもらいたいです。たとえ活動時間が10分でもいいので、少しでも興味があれば、気軽に見守り活動に参加して欲しいです。見守り隊の活動は、子どもたちとの交流があり、とても楽しいので、ぜひ参加してください。



見守り隊の活動に興味がある方は、お近くの小学校または学務課にお問い合わせください。

お問い合わせ 学務課 042-769-8282